



住宅に侵入して金品等を盗む住宅侵入窃盗にはどんな形態があるのですか？



住宅侵入窃盗には「空き巣」「忍び込み」「居空き」があります。

「空き巣」は、家人などが不在の住宅の屋内に侵入し、金品を盗むものをいいます。

「忍び込み」は、夜間、家人などの就寝した頃を見はからって住宅内に侵入し、金品を盗むものをいいます。

「居空き」は、家人などが昼寝や食事をしているすきに住宅内に侵入し、金品を盗むものをいいます。



どんなモノが盗まれたり、どんな被害があるのですか？



- 現金、預金通帳、貴金属、カード、パスポートなどの大切な金品が盗まれます。
- パソコンや電化製品などの窃盗。パソコンの場合、住所録や家計簿などの個人情報もいっしょに盗まれてしまいます。
- 鉢合わせになり、強盗に変身。とっさに家庭の包丁などを使って強盗に変身することもあります。
- 留守宅での待ち伏せ。帰宅するのを待ち伏せし、キャッシュカードを奪って暗証番号を聞き出して現金を引き出したり、女性への暴行に及ぶこともあります。

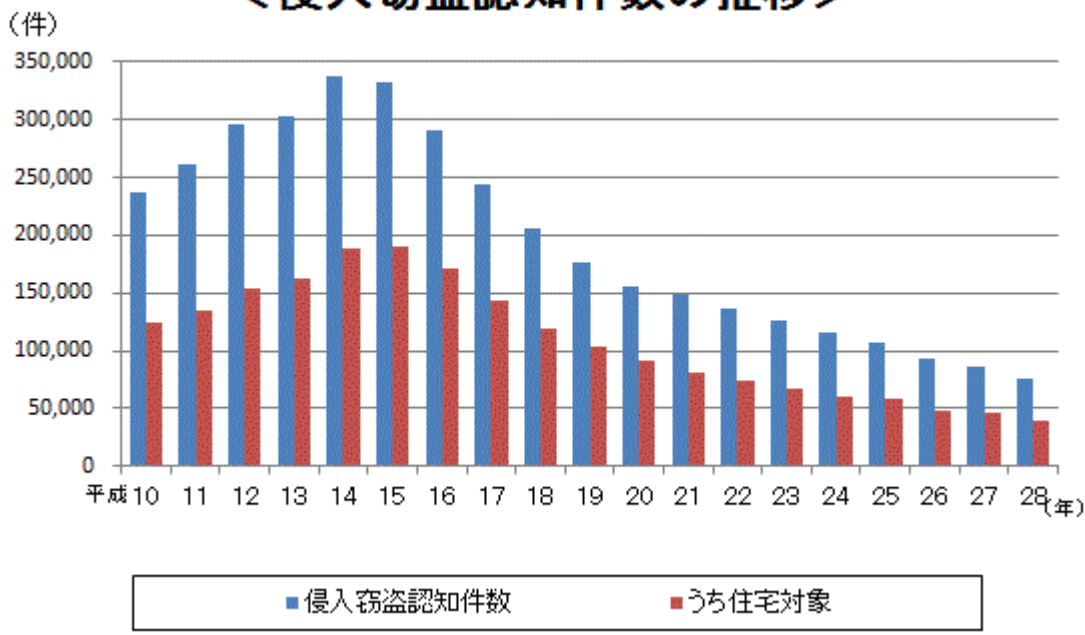


住宅侵入窃盗件数はどのくらいあるのですか



住宅対象侵入窃盗は、平成2004年以降減少しており、2016年は39,249件で前年比-14.8%と、連続して減少しています。しかしながら、一日当たり約107件もの住宅に対する侵入窃盗が発生しており、未だ多くの住宅が被害に遭っています。

＜侵入窃盗認知件数の推移＞



侵入窃盗の発生場所は、一戸建住宅が41.2%と最も多く、一般事務所が13.0%で続いています。

侵入窃盗の手口別件数は、侵入窃盗の手口別件数をみると、空き巣が約1/3を占めます。



侵入者はどんな所からどんな手口で侵入するのですか？



侵入者は、常に「最も簡単に侵入できる方法」を考え、手口を研究しています。侵入者の出方・手口が分かれば、対策も講じられるというものです。

● 侵入口

	1位	2位	3位
一戸建住宅	窓	表出入口	その他の出入口
共同住宅（3階建以下）	窓	表出入口	不明
共同住宅（4階建以上）	表出入口	窓	不明

● 侵入手段

	1位	2位	3位
一戸建住宅	無締り	ガラス破り	その他
共同住宅（3階建以下）	無締り	ガラス破り	不明
共同住宅（4階建以上）	無締り	ガラス破り	合かぎ

どんなに強固な防犯対策をとっても、無締りでは意味がありません。日頃から、施錠する習慣を身につけましょう。

どの住宅も、窓と表出入口からの侵入が非常に多い傾向となっています。住宅の開口部の防犯性能を高めましょう。



Q

住宅窃盗犯はどんなところを狙っているのですか？



A

●下見は万全にしている！

侵入者は、下見を行うケースが多いといわれます。そのチェック項目は、「(1)留守かどうか (2)侵入しやすい家かどうか (3)逃げやすいかどうか」などです。

●侵入しやすい家かどうかをチェックしている

・庭木など死角になるものがあるか／足場になるものがあるか／窓のクレセント錠の位置が開けやすいところにあるか／犬がいないか。

●逃げやすいかどうかをチェックしている

・駅に近いか／立ち話をしている人がいないか／通行人が少ないか。



Q

住宅窃盗犯を防ぐにはどうしたらよいのでしょうか？



A

●5分が分かれ目

侵入に手間取り、5分かかると侵入者の約7割はあきらめ、10分以上かかると侵入者のほとんどはあきらめるといいます。「侵入に時間をかけさせる」。これが、侵入されるかどうかの大きなポイントになります。

●ジロジロ見ないで！

侵入者は、「近所づきあいが良く、連帯感のある住宅街」を嫌います。犯行をあきらめた理由で多いのは、「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた」です。不審者を見かけたら、まずは「何かご用ですか？」などと声をかけましょう。